

令和 7 年度 学習の手引き

教科名	家庭	年次	2	使用教材 家庭総合 明日の生活を築く 開隆堂
科目名	家庭総合	必修		
		単位	2	

科目の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を身につけることを目指す。

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。

(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて理論的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

学習方法

- ・授業での学びを、学校全体の活動や地域の活動と結びつけて考えてみる。
- ・授業で学んだことを、自分の自立のために日々実践する。
- ・日常のニュースに目を向け、解決策を考えたり自分にできることを考えたりする。

評価の観点

次の観点に基づき、単元または内容のまとまりごとに評価を行います。前期末にはそれらを総括して評価を行います。学年末は1年間を総括して評定を出します。

評価の観点	評価の観点の趣旨
① 知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解するとともに、家族・家庭、消費や環境などについて生活を主体的に営むための技能を身につけることができる。
② 思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけることができる。
③ 主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとすると共に、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造し、実践しようとしている。

評定への総括

評語	評価	評定
A A A	10	5
A A B	9	
A B B	8	4
A A C	7	
A B C	6	3
B B B	5	
B B C	4	2
A C C	3	
B C C	2	1
C C C	1	

評価方法

評価方法\観点	①	②	③	備考
定期考査	○	○		
実技実習	○	○	◎	
宿題	○		◎	
授業プリント	○	○	○	
行動観察	○	○	◎	
レポートの記述	○	○	○	
授業の取り組み			◎	

◎特に重視する点

内容のまとめりごとの評価規準

科目名: 家庭総合

評価の観点		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容のまとめり				
1	A人の一生と家族・家庭及び福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活と発達、遊びについて理解を深め、子どもの発達に応じて適切に関わるための技術を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健やかな発達を支えるために、子供との適切なかかわり方に問題を見出して課題解決する力を身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わりと保育・福祉について、課題解決に主体的に取り組んでいる。
2	A人の一生と家族・家庭及び福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を取り巻く環境の変化や課題について理解を深めている。 ・高齢期の心身の特徴について理解を深めている。 ・高齢期の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深めている。 ・高齢者や障害のある人々など様々な人々が共に支え合って生きることの意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の自立を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わりについて問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、こうしたことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・高齢者の自立生活を支えるために、高齢者の心身の状況に応じた適切な支援の方法や関わり方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、高齢者との関わりや共生社会と福祉について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
3	B衣食住の生活の科学と文化	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活を取り巻く環境など、食と人との関わりについて理解している。 ・日本と世界の衣文化など、衣服と人との関わりについて理解を深めている。 ・衣生活を取り巻く環境など、被服と人との関係について理解を深めている。 ・住生活を取り巻く環境など、住まいと人との関わりについて理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に衣生活や食生活、住生活を営むことができるよう目的や個性に応じた生活、健康に配慮した生活に関して、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを、根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題解決する力を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の構築に向けて、衣生活・食生活、住生活の科学と文化について課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
4				
5				
6				
7				
8				

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	家庭総合		教科書	
単位数	2			・発見力 ・学ぶ力 ・探究力
単元名	高齢者との関わりと福祉			
内容のまとめ	人の一生と家族・家庭及び福祉			育成する 資質・能力 ・思考力
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・高齢者を取り巻く社会環境や心身の特徴について理解する。生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。また、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解する。	・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて理論的に表現する。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	
単元の学習内容	・高齢者の現状と高齢化社会の状況について知る。			
	・自分自身の高齢期をよりよく生きられるようにする。			
	・社会の一員として高齢者の関わり方を考えて実践する方法を考える。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・高齢者を取り巻く社会環境や心身の特徴について理解しようとしている。生活支援に関する基礎的な技能を身に付けようとしている。また、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解しようとしている。	・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて理論的に表現しようとしている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	実技実習	○		○
	宿題	○		○
	授業プリント	○	○	○
	行動観察		○	○
	レポートの記述			
	授業の取り組み			○
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

		家庭	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名		家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力 ・発見力 ・学ぶ力 ・探究力 ・グローバル力 ・思考力
単位数		2			
単元名		共に生き、共に支える			
内容のまとめ		人の一生と家族・家庭及び福祉			
単元の目標		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解する。	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現する。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践する。	
単元の学習内容	・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会について学ぶ				
	・共に支え合う社会の実践に向けて、国地方公共団体の制度などについて学ぶ				
	・多様性を発揮し共に暮らせる社会を目指して、個人や地域の役割を考える。				
単元の評価規準		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
		・生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しようとしている。	・家庭や地域及び社会の一員としての自覚を持って共に支え合って生活することの重要性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現しようとしている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて高齢期の生活と福祉について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったり改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○		
	実技 実習				
	宿題				
	授業プリント	○	○		
	行動観察		○	○	
	レポートの記述				
	授業の取り組み			○	
配当時間	5時間				
補足等					

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	-	
科目名	家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力 ・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	衣生活の科学と文化			
内容のまとめ	衣食住の生活の科学と文化			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・健康で快適な衣生活に必要な情報収集・整理ができる。 ・基礎的な裁縫の技術を身に付け、衣服製作ができる。	・被服の機能性や快適性について問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて衣生活を健康について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。	
単元の学習内容	・国や地域の衣服文化の違いを学ぶ。			
	・衣服の構造と機能性や快適性について学ぶ。			
	・小物及び衣服制作を通して裁縫の技術を身につける。			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	・健康で快適な衣生活に必要な情報収集・整理ができる。 ・基礎的な裁縫の技術を身に付け、衣服製作ができる。	・被服の機能性や快適性について問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けようとしている。	・様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて衣生活を健康について、課題解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	実技実習	○	○	
	宿題			
	授業プリント		○	○
	行動観察			○
	レポートの記述			
	授業の取り組み	○		○
配当時間	20時間			
補足等				

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	2学年 必修		
科目名	家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力	・発見力 ・学ぶ力 ・思考力
単位数	2				
単元名	住生活の科学と文化				
内容のまとめ	衣食住の生活の科学と文化				
単元の目標	知識・技能 ・国や地域によって住環境が違うことを理解し、また、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。	思考・判断・表現 ・住居の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践している。		
単元の学習内容	国や地域の住生活の違いを学ぶ。 持続可能な住生活について学ぶ。				
単元の評価規準	知識・技能 ・防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解している。 ・適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けようとしている。	思考・判断・表現 ・住居の機能性や快適性について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けようとしている。	主体的に学習に取り組む態度 ・よりよい社会の構築に向けて、住生活と住環境について課題解決に主体的に取り組む、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
主な評価方法	定期考査	○	○		
	実技実習				
	宿題	○			
	授業プリント		○		○
	行動観察		○		○
	レポートの記述				
	授業の取り組み		○		○
配当時間	5時間				
補足等					

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力 ・発見力 ・思考力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	持続可能なライフスタイルと環境			
内容のまとめ	消費生活と持続可能な社会			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとする。 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 自分の消費生活のあり方と世界の環境問題とのつながりについて学習する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 今日の世界の環境問題をはじめとする課題と、それらを解決していくために、今自分ができることについて考える。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 将来の経済的自立について学習する。 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 人の一生について、自己と他者、社会との関わりから様々な生き方があることを理解している。 自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い、生涯を見通して生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題点を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践している。 	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	実技実習			
	宿題			○
	授業プリント		○	○
	行動観察			○
	レポートの記述	○	○	○
	授業の取り組み			○
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	2学年 必修	
科目名	家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力 ・学ぶ力 ・探究力 ・思考力 ・寛容力 ・コミュニケーション力
単位数	2			
単元名	食生活の科学と文化			
内容のまとめ	衣食住の生活の科学と文化			
単元の目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 目的に応じた調理に必要な技能を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見出して課題を解決し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践する。 	
単元の学習内容	<ul style="list-style-type: none"> 簡単な調理の方法を学び、実習を通して技術を身につける。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 食材の衛生的な管理について学ぶ 			
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	<ul style="list-style-type: none"> 自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けようとする。 目的に応じた調理に必要な技能を身に付けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見出して課題を解決し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて理論的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践しようとしている。 	
主な評価方法	定期考査	○	○	
	実技実習			
	宿題			
	授業プリント		○	○
	行動観察			○
	レポートの記述	○		○
	授業の取り組み	○		○
配当時間	10時間			
補足等				

単元の計画

教科名	家庭	対象学年・生徒	2学年 必修		
科目名	家庭総合	教材 題材	教科書 授業プリント	育成する 資質・能力	・表現力 ・自己指導力
単位数	2				
単元名	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動				
内容のまとめ					
単元の目標	知識・技能 ・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	思考・判断・表現 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践する。		
単元の学習内容	家庭生活上の課題を設定し解決方法を考える。				
単元の評価規準	知識・技能 ・ホームプロジェクト及び学校家庭クラブ活動の意義と実施方法について理解している。	思考・判断・表現 ・自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	主体的に学習に取り組む態度 ・様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実向上を図るために実践する。		
主な評価方法	定期考査				
	実技実習	○	○		
	宿題			○	
	授業プリント				
	行動観察			○	
	レポートの記述	○	○	○	
	授業の取り組み			○	
配当時間	10時間				
補足等					